2　地理歴史・公民

学校番号	４１７

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理Ａ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校　新地理Ａ　（帝国書院）						
副教材等	新詳高等地図　（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・さまざまな地球的課題について，地域性や歴史的背景を踏まえて資料等をたくさん活用できるように、地図帳・教科書の活用方法を学んでいきましょう。

2　学習の到達目標

・地理的なものの見方や考え方についての基礎的な知識や活用ができるようになる。
・教材の内容及び用語の理解と修得を目指し、地理的な理解方法と問題解決方法を身につける。
現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景，日常生活との関連を踏まえて考察できる力を見につける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代世界の地理的な諸課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	現代世界の地理的事象から課題を見出し、それを地域性を踏まえて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえて構成に判断する。	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択、活用することを通して現代社会の地理的事象を追究する技能を身につけるとともに、追究した過程や結果を適切に表現する。	現代社会の地理的な諸課題についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身につけている。
評価方法	授業プリント ノート	定期考査 授業プリント ノート	定期考査 ワークシート 授業プリント ノート	定期考査
	振り返りシート	〔主題学習〕 レポート 報告会での発表内容	〔主題学習〕 ポスター	
	※「主題学習」とは主題を設定して行う学習活動で、適切な時間を確保して行う。			

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	地球上の位置と国家	①地上の現象と地球上の位置	○	○	○		a：①地上の現象と地球上の位置についての関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。②経度の違いと時差のしくみについて関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。④国家の領域と国境に対する関心と課題意識を高め，それらを意欲的に追究し，とらえようとしている。⑤日本の領域と領土問題に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b：①地上の現象と地球上の位置について，地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。②時差のしくみや時差と日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。④国家の領域や国境を表す地図や画像などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。 c：①地上の現象や地球上の位置に関する諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。②時差に関する地図や諸資料を収集し，有用な情報を選択して読み取ったり，計算により時差を求めたり，図表などにまとめたりしている。④国家の領域や国境を表す地図や画像などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d：③地球儀と地図との違いや，図法によって距離・方位・面積などの表現が異なることを理解し，それらに関する知識や活用方法を身につけている。⑤国家の領域とさまざまな国境についての基本的な事がらを理解し，それらの知識を身につけている。	授業プリント ノート 定期考査 ワークシート
		②経度の違いと時差	○	○	○			
		③球面と平面の世界				○		
		④国家の領域と国境	○	○	○			
		⑤日本の領域と領土問題	○			○		

2学期	グローバル化が進む世界	①結びつきを強める現代社会 ②拡大する世界の貿易 ③世界を結ぶ交通 ④世界を一つに結ぶ通信 ⑤観光と人の移動のグローバル化	○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a： ④インターネットの普及による高度情報化社会の成立は，産業や日常の生活にどのような影響を与えているか考察する。 b：①冷戦終結後もあいつぐ地域紛争や地球的な課題を解決するために，国連の重要性が増していることを考察する。⑤外国人労働者の増加とその背景，課題について，経済のグローバル化をふまえて理解するとともに，今後の展望について考察する。⑤観光と人の移動の変化について，地域性や国際化の進展をふまえて考察する。 c：②貿易の特徴と課題について，自由貿易の進展や輸出品目と貿易収支，日本の貿易品の変化などをふまえて考察する。③陸上交通と海上交通の特性を，それらの長所と短所に即して考察する。④情報化の進展のよる課題について，国や地域，社会階層の違いに即して考察する。 d：①地域的枠組みにより，自由貿易が拡大していることを理解する。①東西冷戦の終結やグローバル化が進行するなかで，国家間の結びつきが軍事的結合から経済的結合へ変化したことを理解する。②貿易の自由化が進むなかで，地域内の経済的結びつきを強める協定が拡大していることを理解する。②貿易によって世界はどのように結びついているのか，国際分業や貿易の形態の変化をふまえて理解する。③交通網の発達により世界や諸地域の結びつきが強まり，地球的規模での交流が活発化していることを理解する。③航空交通の発達と国際社会の変化について，ハブ空港とその重要性をふまえて理解する。④情報通信技術の発達により，世界はどのように結びついているのか，生活や産業の変化をふまえて理解する。⑤観光の形態や国際観光収支の変化について，地域性や経済発展の動向をふまえて理解する。	授業プリント ノート 定期考査 ワークシート

2学期	人々の生活と気候	①生活と気候のかかわり ②熱帯の気候と人々の生活 ③乾燥帯の気候と人々の生活 ④温帯の気候と人々の生活 ⑤亜寒帯・寒帯の気候と人々の生活	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a：①②③④⑤各気候の気候と人々の生活に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b：①②③④⑤各気候の特徴と人間生活とのかかわりについて考察する。①②③④⑤各気候の気候の特徴や人々の暮らしについて，地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c：①②③④⑤各気候のおよび植生・土壌の特徴，分布に関する地図や統計・画像などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d：①②③④⑤ケッペンの気候区分と分布の特徴を理解する。①②③④⑤気候は，気温・降水量・風などの気候要素から構成されていることを，気候因子の影響をふまえて理解する。	授業プリント ノート 定期考査 ワークシート
3学期	世界の諸地域の生活・文化	① 中国の生活・文化 ② ヨーロッパの生活・文化 ③ オーストラリアの生活・文化 ④ アメリカの生活・文化 ⑤〔主題学習〕 課題の設定 調査方法 資料収集 成果報告	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:①②③④各国の歴史と社会に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b:①②③④各国社会の特徴と近年の変化や課題について課題を見出し，地域性，歴史的背景をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。⑤海外の国の文化や興味関心のある分野についての資料をまとめ、１つのテーマに沿って表現できる。 c:①②③④各国の民族分布や人口密度，年齢別人口構成に関する地図や統計などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。⑤1 つのテーマ発表にむけて資料・写真を取捨選択し、有効に活用できる。 d:①②③④各国の多様な民族と文化の特徴を，民族の構成や分布，移民の増加などをふまえて理解する。	授業プリント ノート 定期考査 ワークシート

4 学習の活動

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能 d:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。